

看護技術各論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》 米川弘樹 (看護福祉学部 yone@hoku-iryo-u.ac.jp) 横川亜希子 (看護福祉学部)

【概要】

看護技術各論 に引き続き、対象者のハイレベルのウェルネスを維持、促進、回復するための看護学的方略を理解し、看護過程の概念および基本的ニーズを充足する援助方法について学習する。

【学修目標】

1. 看護過程の概念を理解し、基本的ニーズを充足する方法について考察する。
2. 看護過程における看護目標と具体策の立案および評価について理解する。
3. 薬物療法時の看護の役割と援助方法について考察する。
4. 検査時の看護の役割と看護技術について考察する。
5. 看護における安全管理について、これまでの科目で学んだことと関連づけて理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

米川弘樹 (看護師) 横川亜希子 (看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護過程の概念および基本的ニーズを充足する援助方法に関する講義をする。